

(別添資料1)

事業所名

おおふじ学園（児童発達支援事業）

支援プログラム

作成日

令和6年

12月

1日

見直し日

令和8年

1月

22日

法人（事業所）理念		私たちは障害を持つ人たちが寄り添い自立を助け、豊かな人間性を育む信頼される施設を目指します。						
支援方針		おおふじ学園は、障害児、重症心身障害児に対し、生育を助長し、集団の中に入っていき力を身につけると共に、将来を見通し自立の促進を図ることができるよう、利用者に対し、児童福祉法に基づく児童発達支援・放課後等デイサービスに必要な支援を行います。						
営業時間		9時	0分	から	16時0分	まで	送迎実施の有無	※送迎の有無については要相談
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	健康な心と体を育て、健康で安全な生活を作り出すことを支援します。また、こどもの心身の状態をきめ細やかに確認し、特に医療的ケアのある方は、平常とは異なった状態を速やかに見つけ出し、必要な対応をすることが重要になります。そして、日常生活や社会生活を営めるよう、それぞれのこどもが持つ機能をさらに発達させながら、こどもに適した支援を行います。						
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図ります。感覚の特性(感覚の過敏や鈍麻)を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行います。						
	認知・行動	認知や行動の手掛かりとなる概念の形成物の機能や属性、形や色の様子、大小、数等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援します。感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防及び適切行動への対応の支援を行います。						
	言語 コミュニケーション	障害の種別や程度、興味関心等に応じて、言葉によるコミュニケーションだけでなく、表情や身振り、各種の機器等（文字、記号、絵カード）を用いて意思のやりとりが行えるようにするなど、コミュニケーションに必要な基礎的な能力を身につけることができるよう支援します。						
	人間関係 社会性	周りに関心のない子や、肢体に麻痺があり上手に身体を動かせない子が、一人遊びの状態から並行遊びを行い、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援します。						
家族支援		家族の困りごと等に対して相談援助していきます。			移行支援		将来的なことを考え、他事業の行事等に参加し経験をすることを提供します。	
地域支援・地域連携		各関係機関と連携を強化し、ライフステージにおいて切れ目のない支援を行い、身近な地域の中で安心して過ごせるように支援します。			職員の質の向上		外部研修で学んだことを、次に内部研修を行い職員全体で共有し、現場に活かせるようにしています。	
主な行事等		レクリエーション、外出、ドライブ、防災訓練等						